



自衛隊栃木地方協力本部

梅雨の合間に広報展 ～道の駅思川～



たくさんの「のぼり旗」でアピール

自衛隊栃木地方協力本部小山地域事務所（所長 宅原と陸尉）は、6月10日（土）、道の駅思川（小山市）において中央即応連隊（宇都宮）及び家族会小山支部の支援を受け広報展を実施した。

当日は、梅雨入りしたばかりの初夏ということもあり、蒸し暑い天候であったが、多くの来場者が自衛隊広報展に訪れていた。広報展は、軽装甲機動車及びオートバイが展示され、制服試着コーナーや自衛隊紹介コーナーなど、子供から大人まで沢山の来場者が、制服姿や自衛隊車両と写真を撮るなど楽しんでいた。また、広報展の隣では自衛隊家族会小山支部が自衛隊グッズ等の販売を行い賑わいを見せていた。

小山地域事務所は「今後も、自衛隊に対する興味や理解促進に努め、自衛隊を身近に感じてもらえるよう広報イベントに積極的に参加していく」としている。



子供の目線に対応する中央即応連隊隊員



家族会小山支部のブースの様子



展示された偵察バイクと軽装甲機動車

とちぎのはたらく車大集合！なかがわ水遊園～梅雨にも負けず・・自衛隊をアピール！～



自衛隊ブースの様子

栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井一陸尉）は、6月11日（日）、栃木県大田原市のなかがわ水遊園で実施された「とちぎのはたらく車大集合！」において東部方面特科連隊第2大隊（宇都宮）の支援を受け、広報展を実施した。

自衛隊は、災害時に活躍する車として、3 1/2トラック、野外炊具1号を展示し、その他に警察・消防・建設関連のはたらく車がそれぞれ展示された。

当日は終日雨ではあったが、子供連れの家族など多数の来場者が訪れ、3 1/2トラックの荷台へ乗り込み大きな声ではしゃぐ子供たちや、制服試着をし、記念撮影をする家族連れなど、たくさんの笑顔を見ることが出来た。来場者の中には、「中学生のとき自衛隊の職場体験に参加しました！」と話す高校生もいて、自衛隊が身近な存在になりつつあることを感じられた。

大田原地域事務所は、「今後も、様々な地域イベントに参加し、地域の理解を広げるとともに、志願者獲得に繋がっていききたい」としている。



制服試着をし、記念撮影する来場者



トラックの荷台に乗車する来場者



炊事車に乗り込む子供たち